年間授業計画

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 H組～ E組

使用教科書：（第一学習社 精選言語文化）

教科 国語

の目標：国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。

【思考力、判断力、表現力等】「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

科目 言語文化

の目標：国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・書	読					
1 学期	小説 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	羅生門（芥川龍之介） 下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。	○	○	・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。 ・老婆の語る論理を、叙述を基に読み解き、学習課題に沿って、下人がどのように判断したか、説明しようとしている。 ・典拠となった『今昔物語集』の説話と粘り強く読み比べ、作者の工夫をまとめようとしている。				9
	定期考査					○	○		1
	詩、古文 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	一つのメルヘン（中原中也） 詩独特の表現技法や構成などを理解し、作品に託されたメッセージを読み取る。 児のそら寝（宇治拾遺物語） 古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 絵師良秀（宇治拾遺物語） 古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取る。	○	○	・繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとしている。 ・象徴的な表現を読み取り、進んで作品世界を理解しようとしている。 ・積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。 ・時間の経過による言葉の意味の変化を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したりしようとしている。 ・積極的に説話を読み、叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉えようとしている。 ・文の構成単位を理解し、学習の見通しをもって、文を文節や単語に分けようとしている。				3
	定期考査					○	○		1
2 学期	小説、短歌 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	鏡（村上春樹） 恐怖体験の一つとして語られる、幽霊でも超常現象でもない、人の内面に潜む恐怖とは何かを読み解く。 その二十 わが国の伝統文化の一つである短歌の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する歌人の作品を味わう。	○	○	・人の内面に潜む恐怖の正体を進んで考察し、解釈したことを説明しようとしている。 ・恐怖体験を語る小説における、暗示や比喩の効果について、積極的に評価しようとしている。 ・短歌の形式や表現を進んで理解し、学習の見通しをもって短歌文芸に親しもうとしている。 ・作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの方、感じ方を豊かにしようとしている。				11
	定期考査					○	○		1
	古文、漢文 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	なよ竹のかぐや姫（竹取物語） 古典特有の世界観に慣れるとともに、千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを知る。 漢文入門 わが国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意味を知る。	○	○	・初期仮名物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って伝奇性や心情描写の特色を捉えようとしている。 ・用言の活用について理解し、学習の見通しをもって活用形を調べようとしている。 ・これらの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身に付けようとしている。 ・日常的に使う故事成語や格言の量を積極的に増やし、漢文が我が国の言語文化と不可分の関係にあることを理解しようとしている。				15
定期考査						○	○	1	
3 学期	小説 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	城の崎にて（志賀直哉） 二つの小動物の死と関連して心境が語られる構成を読み取り、作中に示された死生観について考えを深める。	○	○	・作品に表れている死生観を捉え、内容を解釈しようとしている。 ・『いのち』と粘り強く読み比べ、自分の考えを論述しようとしている。				10
	古文、漢文 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。	古典から受け継がれる話の由来を調べる（課題に応じて調査する方法を学ぶ） 故事成語 漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。	○	○	・伝統文化に関して積極的に題材を集め、集めた題材のよさや味わいを吟味しようとしている。 ・『祭りの笛』を振り返り、構成や表現に工夫を凝らして随筆を書こうとしている。 ・故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。				10
	定期考査					○	○		合計 70

年間授業計画 新様式

高等学校 令和6年度（1学年用）教科

公民 科目 公共

教科：公民

科目：公共

単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 H組～ E組

使用教科書：（高等学校 新公共（第一学習社））

教科 公民

の目標：

【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論および倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめている。

【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。

【学びに向かう力、人間性等】 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

科目 公共

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体として活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間として在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>社会に生きる私たち</p> <p>【知識及び技能】 青年期を生きる私たちが何を考え行動すればよいか、また、青年期の課題を理解させる。伝統や文化などにふれ、自らの行動様式や考え方の関係について理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分自身が公共的な空間を作り出す一員である自覚を深めるとともに、他者と協働して社会を作り出すことの意義について多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間を作る私たちについて、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p>	<p>・指導事項 ①社会に生きる私たち ②個人の尊厳と自主・自律 ③多様性と共通性 ・教材 教科書、プリント、ワークシート ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 青年期を生きる私たちが何を考え行動すればよいか、また、青年期の課題を理解している。伝統や文化などにふれ、自らの行動様式や考え方の関係について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 自分自身が公共的な空間を作り出す一員である自覚を深めるとともに、他者と協働して社会を作り出すことの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間を作る私たちについて、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	8
<p>公共的な空間における人間としての在り方生き方</p> <p>【知識及び技能】 先人の取り組みや知恵などをふまえ、社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 先人の取り組みや知恵などをふまえ、社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解させる。先人の取り組みや知恵などをふまえ、社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間を作る人間としての在り方生き方について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p>	<p>・指導事項 ①選択・判断の手掛かりとなる考え方 将来世代に受け渡したい環境 生命倫理をめぐる問題 ・教材 教科書、プリント、ワークシート ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 先人の取り組みや知恵などをふまえ、社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 選択・判断するための手掛かりとなる考え方を活用し、環境保護や生命倫理などの問題に関して、諸資料を適切に読み取り、必要な情報を活用して、人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間を作る人間としての在り方生き方について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	8
<p>1 学期</p> <p>公共的な空間における基本的原理</p> <p>【知識及び技能】 人権保障のあゆみや世界の政治体制、日本国憲法などを通して、公共的な空間における基本的原理が、現代社会でどのような形で生かされているかを理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 諸資料を適切に読み取り、必要な情報を活用して、公共的な空間における基本的原理を踏まえ、個人と社会との関係を多面的、多角的に考察、構想させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間における基本原理について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p>	<p>・指導事項 ①人間の尊厳と平等 ②私たちと政治・法の支配と立憲主義 ③私はどこまで自由か ④大日本帝国憲法と日本国憲法・憲法に生きる基本的原理 ・教材 教科書、プリント、ワークシート ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 人権保障のあゆみや世界の政治体制、日本国憲法などを通して、公共的な空間における基本的原理が、現代社会でどのような形で生かされているかを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 具体的な事例を通して、諸資料を適切に読み取り、必要な情報を活用して、公共的な空間における基本的原理を踏まえ、個人と社会との関係を多面的、多角的に考察、構想している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間における基本原理について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○		1
			○	○	○	5

	<p>法的な主体となる私たち</p> <p>【知識及び技能】 法や規範の意義や作る際の配慮すべきこと、日本国憲法の権利と現実の課題、契約や消費者の権利と責任、紛争を法にもとづいて公正に解決するしくみについて理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 身の回りの偏見・差別や消費者の権利・義務などに関する問題について、具体的事例を通して、多様な多面的・多角的に考察し、その解決策を検討し、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現実社会の諸課題について、特に法的な分野の内容に関係する、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p>	<p>・指導事項 主題1 法や規範の意義と役割 ①私たちと法 ②法と基本的人権 ③自由に生きる権利と法・規範 ④平等に生きる権利と法・規範 ⑤安全で豊かに生きる権利と法・規範 ⑥法をよりよいものにするための権利</p> <p>主題2 契約と消費者の権利・責任 ①さまざまな契約と法 ②消費者の権利と責任 主題3 司法参加の意義 ①司法権の独立 ②国民の司法参加</p> <p>・教材 教科書、プリント、ワークシート 一人1台端末の活用 等</p>	<p>法的な主体となる私たち</p> <p>【知識及び技能】 法や規範の意義や作る際の配慮すべきこと、日本国憲法の権利と現実の課題、契約や消費者の権利と責任、紛争を法にもとづいて公正に解決するしくみについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 身の回りの偏見・差別や消費者の権利・義務などに関する問題について、具体的事例を通して、多様な多面的・多角的に考察し、その解決策を検討し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の諸課題について、特に法的な分野の内容に関係する、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2 学 期	<p>政治的な主体となる私たち</p> <p>【知識及び技能】 選挙の意義や課題、国民と国会・内閣の関係、地域社会へのかかわりについて理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 選挙の課題や自治体が抱える課題について、適切に情報を収集し、課題の解決の在り方について考察、構想させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 民主自治を推進するために果たすべき責任を考え、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決する必要性に気づかせる。</p>	<p>・指導事項 主題4 政治参加と公正な世論形成 ①私たちと選挙 ②選挙の現状と課題 ③世論の形成と政治参加 ④国会と立法 ⑤内閣と行政 ⑥地方自治と住民福祉</p> <p>・教材 教科書、プリント、ワークシート 一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 選挙の意義や課題、国民と国会・内閣の関係、地域社会へのかかわりについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 選挙の課題や自治体が抱える課題について、適切に情報を収集し、課題の解決の在り方について考察、構想させる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 民主自治を推進するために果たすべき責任を考え、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決する必要性に気づかせる。</p>	○	○	○	12
	<p>政治的な主体となる私たち</p> <p>【知識及び技能】 国際社会の成り立ちや領土問題、日本の平和主義と安全保障の変容、今日の国際社会の特徴と地位紛争の背景を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 国際平和の実現に向け、軍縮のために国際社会や私たちに何が必要か、また、国際社会における日本の役割について考え、適切に表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現実社会の諸課題について、特に国際平和や日本の安全保障の問題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決する必要性に気付かせる。</p>	<p>・指導事項 主題5 国際社会と国家主権 ①国家と国際法 ②国境と領土問題 ③国際連合の役割と課題</p> <p>主題6 日本の安全保障と防衛 ①平和主義と安全保障 ②日本の安全保障の変容 ③核兵器の廃絶と国際平和</p> <p>主題7 国際社会の変化と日本の役割 ①今日の国際社会 ②人種・民族問題と地域紛争 ③国際社会における日本の役割</p> <p>・教材 教科書、プリント、ワークシート 一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 国際社会の成り立ちや領土問題、日本の平和主義と安全保障の変容、今日の国際社会の特徴と地位紛争の背景を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 国際平和の実現に向け、軍縮のために国際社会や私たちに何が必要か、また、国際社会における日本の役割について考え、適切に表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の諸課題について、特に国際平和や日本の安全保障の問題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決する必要性に気付いている。</p>	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	<p>経済的な主体となる私たち</p> <p>【知識及び技能】 経済の基本的なしくみや労働者を守るための法や権利、日本経済のあゆみと情報化の進展について理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 少子高齢化やグローバル化が進む現代社会における将来の働き方や現在の労働問題について考察し、課題と解決策を考え、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現実社会の諸課題について、特に経済分野についてよりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p>	<p>・指導事項 主題8 雇用と労働問題 ①私たちと経済 ②労働者と権利 ③労働環境と課題</p> <p>主題9 社会の変化と職業観 ①日本経済のこれまでとこれから ②技術革新の進展 ③現代の企業 ④中小企業の現状と役割 ⑤日本の農林水産業</p> <p>・教材 教科書、プリント、ワークシート 一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 経済の基本的なしくみや労働者を守るための法や権利、日本経済のあゆみと情報化の進展について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 少子高齢化やグローバル化が進む現代社会における将来の働き方や現在の労働問題について考察し、課題と解決策を考え、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の諸課題について、特に経済分野についてよりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	<p>経済的な主体となる私たち</p> <p>【知識及び技能】 市場経済のしくみと市場の失敗、景気変動、金融市場の役割と意義、財政や社会保障のしくみや課題を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 市場経済のしくみと市場の失敗、景気変動、金融市場の役割と意義、財政や社会保障のしくみや課題を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 市場の失敗の具体的な事例をふまえて、その対応策を考察し、表現させる。</p>	<p>・指導事項 主題10 市場経済の機能と限界 ①市場経済と経済運営 ②市場のしくみ ③経済発展と環境保全 ④国民所得と私たちの生活 ⑤経済成長と国民の福祉</p>	<p>【知識・技能】 市場経済のしくみと市場の失敗、景気変動、金融市場の役割と意義、財政や社会保障のしくみや課題を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 市場の失敗の具体的な事例をふまえて、その対応策を考察し、表現させる。</p>				

3 学 期	<p>【思考力、判断力、表現力等】 市場の失敗の具体的な事例をふまえて、その対応策を検討し、表現させる。 日本の財政の課題について考え、少子高齢化が進む中で持続可能なものにするためにどうすべきかを検討し、構想させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現実社会の諸課題について、特に経済分野についてよりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p>	<p>主題11 金融のはたらき ①金融の意義と役割 ②金融のいま</p> <p>主題12 財政の役割と社会保障 ①財政のしくみと租税 ②日本の財政の課題 ③社会保障と国民福祉 ④これからの社会保障</p> <p>・教材 教科書、プリント、ワークシート 一人1台端末の活用 等</p>	<p>案を検討し、表現させる。 日本の財政の課題について考え、少子高齢化が進む中で持続可能なものにするためにどうすべきかを検討し、構想している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の諸課題について、特に経済分野についてよりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	16
	<p>経済的な主体となる私たち</p> <p>【知識及び技能】 自由貿易を進めるための国際機関の機能と役割や経済のグローバル化が日本経済に与える影響、地域経済統合のメリットとデメリットについて理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地域的経済統合のメリット、デメリットから日本の貿易政策がどうあるべきかを検討し、適切に表現させる。 発展途上国の経済成長のために国際社会や日本がすべきことを考え、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現実社会の諸課題について、特に地球環境問題や資源・エネルギー問題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。</p>	<p>・教材 教科書、プリント、ワークシート 一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 自由貿易を進めるための国際機関の機能と役割や経済のグローバル化が日本経済に与える影響、地域経済統合のメリットとデメリットについて理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 地域的経済統合のメリット、デメリットから日本の貿易政策がどうあるべきかを検討し、適切に表現している。 発展途上国の経済成長のために国際社会や日本がすべきことを考え、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の諸課題について、特に地球環境問題や資源・エネルギー問題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	11
	<p>持続可能な社会づくりの主体となる私たち</p> <p>【知識及び技能】 持続可能な社会づくりに向けて、地球温暖化や資源・エネルギー問題、生命倫理、情報、国際社会の課題などの諸課題について、教科書記載の資料およびそのほかの資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 持続可能な社会づくりに向けて、課題を見だし、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 持続可能な社会の形成に関する関心を高め、それを意欲的に追究し、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察しようとする。</p>	<p>・指導事項 ①排出権取引を考える ～地球環境問題 ②ベストミックスを考える ～資源・エネルギー問題 ③ゲノム編集を考える ～生命倫理 ④インターネットによる投票を考える ～情報 ⑤フェアトレードを考える ～国際社会の課題</p> <p>・教材 教科書、プリント、ワークシート 一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 教科書記載の資料およびそのほかの資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>【思考・判断・表現】 持続可能な社会づくりに向けて、課題を見だし、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述させる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 持続可能な社会の形成に関する関心を高め、それを意欲的に追究し、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察している。</p>	○	○	○	9
	<p>定期考査</p>			○	○		1
						合計	
						105	

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教科： 数学 科目： 数学 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 H 組～ E 組

使用教科書： (Standard 数学 I 東京書籍)

教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、計算式やグラフを用いて事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 計算式やグラフを活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、計算式やグラフを表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。

科目 数学 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
①基礎的な計算力を身に付け、グラフの考察に対応できる。 ②二次関数のグラフを求める方法を理解している。 ③二次関数のグラフを用いて具体的な事象に対して応用することができる。	①計算式やグラフを用いて表現するとともに、定理や公式として導くことができる。 ②日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。	①二次関数やそれに関わる定理・公式のよさを認識し、事象の考察や問題の解決に活用しようとしている。 ②二次関数やそれに関わる定理や公式を導くことやそれらを活用した問題解決において、粘り強く考え、その過程を振り返って考察を深めたり評価・改善したりしようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	記 時 数
1 学 期	式の計算・実数 【知識及び技能】 展開や因数分解が計算できる。 【思考力、判断力、表現力等】 計算の結果をもとにいろいろな見方ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 反復力と正確な伝達力	・指導事項 授業内容の前回確認と応用 ・教材 教科書・教科書傍用問題集 (ワーク) ・タブレット等の活用	【知識・技能】 計算の方法 【思考・判断・表現】 計算結果の正確性 【主体的に学習に取り組む態度】 ワーク等を確実に提出	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	一次不等式 【知識及び技能】 一次不等式が計算できる。 【思考力、判断力、表現力等】 計算の結果をもとにいろいろな見方ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 反復力と正確な伝達力	・指導事項 授業内容の前回確認と応用 ・教材 教科書・教科書傍用問題集 (ワーク) ・タブレット等の活用	【知識・技能】 計算の方法 【思考・判断・表現】 計算結果の正確性 【主体的に学習に取り組む態度】 ワーク等を確実に提出	○	○	○	13
定期考査			○	○		1	
2 学 期	2次関数とそのグラフ 【知識及び技能】 2次関数の式を変形し、グラフを描くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 グラフをもとにいろいろな見方ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 反復力と正確な伝達力	・指導事項 授業内容の前回確認と応用 ・教材 教科書・教科書傍用問題集 (ワーク) ・タブレット等の活用	【知識・技能】 計算の方法 【思考・判断・表現】 計算結果の正確性 【主体的に学習に取り組む態度】 ワーク等を確実に提出	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	2次関数とそのグラフ 【知識及び技能】 2次関数の式を変形し、グラフを描くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 グラフをもとにいろいろな見方ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 反復力と正確な伝達力	・指導事項 授業内容の前回確認と応用 ・教材 教科書・教科書傍用問題集 (ワーク) ・タブレット等の活用	【知識・技能】 計算の方法 【思考・判断・表現】 計算結果の正確性 【主体的に学習に取り組む態度】 ワーク等を確実に提出	○	○	○	13
定期考査			○	○		1	
3 学 期	2次方程式・2次不等式 【知識及び技能】 2次方程式・2次不等式が計算できる。 【思考力、判断力、表現力等】 計算の結果をもとにいろいろな見方ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 反復力と正確な伝達力	・指導事項 授業内容の前回確認と応用 ・教材 教科書・教科書傍用問題集 (ワーク) ・タブレット等の活用	【知識・技能】 計算の方法 【思考・判断・表現】 計算結果の正確性 【主体的に学習に取り組む態度】 ワーク等を確実に提出	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和6年度（1学年用）教科

理科

科目 科学と人間生活

教科：理科

科目：科学と人間生活

単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 組～組

使用教科書：（科学と人間生活）

教科 理科

の目標：

【知識及び技能】自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

科目 科学と人間生活

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然や科学技術と人間生活との関わりについて、自らの課題研究を基に認識を深めている	既習の内容や生活経験を想起し、自然や科学技術と人間生活との関わりについて課題を設定するとともに、仮説や調べる計画を立て、表現している。 自ら設定した課題について、得られた結果を基に、科学的に考察して結論を導き、表現している。	観察・実験や資料調査、結果を基にした考察に進んで取り組み、自ら設定した課題について粘り強く解決しようとしている。 課題研究に関心をもち、友達と対話しながら、進んで課題を設定し、どのように調べれば課題を解決することができるかを考えて計画を立て、表現しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・周期表を覚え活用できるようにする。 ・金属の結合様式から生じる性質を説明できる。	材料とその利用 元素と周期表/原子/原子の電子配置/リサイクルとは何か/金属の性質	単元テスト 報告書 行動観察	○	○	○	5
	異なる金属の性質を利用して金属を区別できる。実験のまとめをすることができる。	材料とその利用 異なる金属の区別	単元テスト 報告書 行動観察	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	・地球上に存在する物質は混合物で存在することを知る。 ・金属の鉱物から金属の単体を得る方法や長所や短所を知る。 ・実験の結果や考察を報告書としてまとめることができる。	材料とその利用 混合物と純物質/混合物の分離/金属の製錬と人間生活/銅の酸化物から銅を取りだそう	単元テスト 報告書 行動観察	○	○	○	8
	・SDG'sの観点から金属の再利用を考える。 ・調べたことを報告書としてまとめ、発表することができる。	材料とその利用 金属の再生利用/イオンの形成/イオン結合/イオン結晶	単元テスト 報告書 行動観察 発表	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2 学 期	・共有結合の結合様式から生じる分子の性質を説明できる。 ・SDG'sの観点からプラスチックの再利用を考える。 ・調べたことを報告書としてまとめ、発表することができる	衣料と食品 共有結合/分子からなる物質/分子の極性/高分子化合物/プラスチックの性質と分類/プラスチックはどのようにつくるか/プラスチックの再利用	単元テスト 報告書 行動観察				
	繊維の特徴から分類ができる 実験の結果をまとめることができる	衣料と食品 共有結合/分子からなる物質/分子の極性/高分子化合物/プラスチックの性質と分類/プラスチックはどのようにつくるか/プラスチックの再利用	単元テスト 報告書 行動観察				
3	光の性質を知る 電磁波の日常的利用について徳融曇にまとめることができる	光の性質とその利用 光としての性質 スペクトル 三原色 電磁波	単元テスト 報告書 行動観察				

学期	<ul style="list-style-type: none"> 光の性質を知る。 様々なエネルギーがどのようにで利用され、変換されていくか調べ、報告書にまとめ、発表することができる。 	熱の性質とその利用 原子や分子の熱運動 熱容量と比熱 熱の伝わり方 エネルギーの有効利用	単元テスト 報告書 行動観察				
							合計 35

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 理科 科目 科学と人間生活

教科：理科 科目：科学と人間生活 単位数：2 単位 第二分野2単位中1単位

対象学年組：第1学年 H組～ E組

使用教科書：（科学と人間生活 実教出版）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

科目 科学と人間生活 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然や科学技術と人間生活との関わりについて、自らの課題研究を基に認識を深めている。	既習の内容や生活経験を想起し、自然や科学技術と人間生活との関わりについて課題を設定するとともに、仮説や調べる計画を立て、表現している。 自ら設定した課題について、得られた結果を基に、科学的に考察して結論を導き、表現している。	観察・実験や資料調査、結果を基にした考察に進んで取り組み、自ら設定した課題について粘り強く解決しようとしている。 課題研究に関心をもち、友達と対話しながら、進んで課題を設定し、どのように調べれば課題を解決することができるかを考えて計画を立て、表現しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学期	・ヒトの眼の構造を理解する。 ・盲斑の測定を通じて、盲斑の確認をし、光の刺激の需要と脳での視覚の獲得について理解する。 ・近くを見るときと遠くを見るときでの調節の仕組みを理解する。 ・2種類の視細胞のはたらきを理解する。 ・実験・観察を通し、広く科学について広く学ぶ。	3編 生命の科学 1章 ヒトの生命現象 1 ヒトの視覚と光による影響	発言分析・記述分析・行動観察	○	○	○	6
				○	○		2
	・周囲の明るさと瞳孔の大きさの変化との関係について理解する。 ・1日を周期とした生活リズムについて考え、体内時計と眼との関係について理解する。	3編 生命の科学 2章 ヒトの生命現象 1 ヒトの視覚と光による影	発言分析・記述分析・行動観察	○	○	○	6
定期考査	定期考査		○	○		1	
2 学期	・カビは微生物であることを知り、微生物とはどのような生物かに問題を見いだす。 ・身のまわりにさまざまな微生物が存在することを知る。 ・食品中、水中、空気中の微生物を観察し、それぞれの細胞の大きさや形について考察する。 ・実験・観察を通し、広く科学について広く学ぶ。	1編 生命の科学 1章 微生物とその利用 1 さまざまな微生物	発言分析・記述分析・行動観察	○	○	○	5
				○	○		2
	・周囲の明るさと瞳孔の大きさの変化との関係について理解する。 ・1日を周期とした生活リズムについて考え、体内時計と眼との関係について理解する。	1編 生命の科学 2章 ヒトの生命現象 1 ヒトの視覚と光による影響	発言分析・記述分析・行動観察	○	○	○	6
定期考査	定期考査		○	○		1	
3 学期	・自然や科学技術と人間生活との関わりについて、調べる課題を設定する。 ・設定した課題を基に、仮説や調べる計画を立てる。	4編 宇宙や地球の科学 1章 太陽と地球 1 太陽と月がもたらすリズム 2章 自然景観と自然災害 1 身近な自然景観の成り立ち	発言分析・記述分析・行動観察	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1

年間授業計画 新様式

教科： 保健体育 科目： 体育 単位数： 2 単位
 教科担当者： H組： A組： B組： E組：
 使用教科書： (なし)

教科 保健体育

目標： 体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを継続するとともに、事故の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。

単元の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能など、及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 体づくり運動 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする	・柔軟体操 ・基礎体力作り (短距離走、ボール投げ、中距離走) ・農芸体操 (体操の体操)	【知識・技能】 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 【思考・判断・表現】 自己の狙いに応じた運動に計画を立案したり、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	6
B 柔道 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする	・柔道 (受け身の習得)	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	6
C 卓球 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。	・卓球 (技術の習得と試合)	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	6
D 水泳 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする	・水泳 (クロール・平泳ぎの技術習得とタイム測定)	【知識・技能】 手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作で泳ぐことができる。 【思考・判断・表現】 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	5
E 体育理論 【知識及び技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組ませる。	・講義 ・レポート作成	【知識・技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 【思考・判断・表現】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
定期考査						

2 学 期	A 水泳 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする	水泳（クロール・平泳ぎの技術習得） 水泳（クロール・平泳ぎのタイム測定）	【知識・技能】 手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作で泳ぐことができる。 【思考・判断・表現】 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	3
	B 柔道 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする	・柔道（受け身・固め技の習得）	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	6
	C ダンス 【知識及び技能】 技術の名称や行い方、ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする	・基礎運動 ・リズム体操 ・ダンスの創作 ・発表	【知識・技能】 技術の名称や行い方、ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方について理解している。 【思考・判断・表現】 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	6
	D ソフトボール 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする	・ソフトボール（技能の習得と試合）	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	8
	E バドミントン 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする	・バドミントン（技能の習得と試合）	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	6
	F 体育理論 【知識及び技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組ませる。	・講義 ・レポート作成	【知識・技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 【思考・判断・表現】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
3 学 期	定期考査						
	A 陸上 【知識及び技能】 自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、ルールやマナーを大切に、互いに高めあうことができるようにする	・持久走（ワークシート作り、記録測定）	【知識・技能】 自己の体力に適したペースを維持して走ることができる。 【思考・判断・表現】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な課題解決に向けて取り組み、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 ルールやマナーを大切に、互いに高めあうことができ、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	8
	B バスケットボール・サッカー 【知識及び技能】 基礎運動を行い、自己の体力や生活に応じて仲間と主体的に関わりあうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれの運動の合理的、計画的な課題解決に向けて取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組む、互いに高めあうことができるようにする	・バスケットボール（技能の習得と試合） ・サッカー（技能の習得と試合）	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方について理解している。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組みを工夫し、他者に伝えようとした。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いに教えあうなど、運動に主体的に取り組もうとした。	○	○	○	4
C 体育理論 【知識及び技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組ませる。	・講義 ・レポート作成	【知識・技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 【思考・判断・表現】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	2	
							合計
							70
	定期考査						

年間授業計画 新様式

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 H組～ E組

使用教科書：（現代高等保健体育）

教科 保健体育

の目標： 体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次の通り育成することを目指す。

単元の目標：

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能など、及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身につけるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準			配当 時数	
			知	思	態		
1 学期	A 現代社会と健康 【知識及び技能】 国民の健康課題について、我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりなどが大切であるというヘルスプロモーションの考え方に基いて現大社会の様々な健康課題について理解し、その解決に向けて思考・判断・表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会の様々な健康課題に関して理解させるとともに、その解決に向けた学習活動に、主体的に取り組ませる。	・健康の考え方	【知識・技能】 国民の健康課題について、我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりなどが大切であるというヘルスプロモーションの考え方に基いて現大社会の様々な健康課題について理解し、その解決に向けて思考・判断・表現できるようにしている。	○	○	○	3
		・現代の感染症とその予防	【主体的に学習に取り組む態度】 現代社会の様々な健康課題に関して理解させるとともに、その解決に向けた学習活動に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
		・生活習慣病などの予防と回復		○	○	○	4
	定期考査		○	○		1	
2 学期	A 現代社会と健康 【知識及び技能】 国民の健康課題について、我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりなどが大切であるというヘルスプロモーションの考え方に基いて現大社会の様々な健康課題について理解し、その解決に向けて思考・判断・表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会の様々な健康課題に関して理解させるとともに、その解決に向けた学習活動に、主体的に取り組ませる。	・生活習慣病などの予防と回復	【知識・技能】 国民の健康課題について、我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりなどが大切であるというヘルスプロモーションの考え方に基いて現大社会の様々な健康課題について理解し、その解決に向けて思考・判断・表現できるようにしている。	○	○	○	3
		・喫煙・飲酒・薬物乱用と健康	【主体的に学習に取り組む態度】 現代社会の様々な健康課題に関して理解させるとともに、その解決に向けた学習活動に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
		・精神疾患の予防と回復		○	○	○	5
	定期考査		○	○		1	

3 学 期	<p>【知識及び技能】 国民の健康課題について、各種の指標や疾病構造の変化を通して理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 現代社会の様々な健康課題について理解し、その解決に向けて思考・判断・表現できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現代社会の様々な健康課題に関して理解させるとともに、その解決に向けた学習活動に、主体的に取り組ませる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習 ・発表 	<p>【知識・技能】 国民の健康課題について、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 現代社会の様々な健康課題について理解し、その解決に向けて思考・判断・表現できるようにしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 学習活動に、主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	7

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽 I

教科：芸術 科目：音楽 I 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 H 組～ E 組

使用教科書：（ MOUSA 1 ）

教科 0 の目標：

- 【知識及び技能】音楽に関する諸記号を理解し、表現するための知識や技術を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】個人の能力に応じ、音楽を色々な楽器、歌、鑑賞等で表現できるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】人生において音楽を愛し、豊かな人生を送る。

科目 音楽 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
義務教育の知識を再確認し、表現するための技術を身につける。	音楽を楽しみ、自分の世界を表現できるようにする。	色々な生徒の発表を聴くことによって、多様性を音楽を通して学ぶ。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現		鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数	
			絵・彫	デ映							
1 学期	1) 楽典 2) 聴音 3) リズム 4) 歌唱 5) 琴	1) 楽典：ト音 ヘ音 2) 聴音 ・ド～ソ ・4分の4拍子 ・4分の3拍子を使用して音の聞き取りを楽譜にする 3) リズム；音符、休符等を使用し、12, 4, 3, 2拍子の習得 4) 歌唱・校歌 5) 習得	○	○	○	○		○	○	○	24
2 学期	1) 楽典 2) 聴音 3) リズム 4) 歌唱 5) ギター	1) 楽典：音楽上必要な諸記号の説明と理解 2) 聴音 ・ド～ソ ・4分の2拍子 ・4分の5拍子を使用して音の聞き取りを楽譜にする 3) リズム；音符、タイ等を使用し、12, 4, 3, 2拍子の習得 4) 歌唱：混声三部合唱 5) 習得	○	○	○	○		○	○	○	26
3 学期	1) 楽典 2) 聴音 3) リズム 4) 歌唱 5) ピアノ	1) 楽典：3和音・コード 2) 聴音：8分の6拍子 8分の3拍子 3) リズム：シンコペーション 4) 歌唱：混声3部合唱 5) 習得	○	○	○	○		○	○	○	20
										合計	70

高等学校 令和6年度(1学年用) 教科 芸術 科目 書道 I

教科: 芸術 科目: 書道 I 単位数: 単位 2

対象学年組: 第 1 学年 AH 組 ~ BE 組

使用教科書: 『書道 I』 東京書籍 (2 | 東書 | 書 I 7 0 1)

教科 芸術 の目標:

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質を理解すると共に、意図に基づいて表現するための知識や技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育み、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造する態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道 I の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
小中学校国語科書写を基礎として書写能力の向上を図り、鑑賞能力や伝統文化への理解を深める。更に書表現の方法や形式、多様性について理解し、基礎的な技能を身に付けるようにする。	書に親しみ、幅広い学習活動を通して、自ら思考・判断することで、書の伝統と文化の意味や価値を考え、書美の味わいを感じ取ることができるようにする。	書に親しみ、幅広い学習活動を通して、主体的・継続的に学びに向かう姿勢を養い、生涯にわたり書を愛好する心情を育てる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		漢	漢	仮						
単元…概説と導入 【知識及び技能】 用具用材の使用法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 適切な執筆法や用具を選択している。 【学びに向かう力、人間性等】 実技のための準備をして授業に臨んでいる。メモをとるようにしている。	・中学校書写の復習と確認。 ・用具・用材の使用法。 ・漢字の成立と変遷。 ・古典の学習法と拓本。	○	○		○					3
単元…漢字の書・楷書の導入 【知識及び技能】 臨書の意義を理解し、実践できる。 【思考力、判断力、表現力等】 落款を正しく理解し書ける。 【学びに向かう力、人間性等】 臨書をもとに氏名の筆書きにも挑戦してみる。	・古典の中にみられる基本点画を練習。 ・形臨、背臨、意臨。 ・範書を参考に氏名を書く。	○	○		○					4
単元…楷書・『九成宮醜泉銘』 【知識及び技能】 楷書の古典を正確に臨書し、その背景を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 楷書の古典を比較し、その特性を理解して表現、臨書している。 【学びに向かう力、人間性等】 実技のための準備をして授業に臨んでいる。メモをとるようにしている。	・基本点画の確認と復習。 ・半紙の折り方など(2, 4, 6字書き用)。 ・『九成宮醜泉銘』と背勢。 ・欧陽詢と『蒲江総白狼伝』。	○	○		○					4
単元…楷書・『孔子廟堂碑』 【知識及び技能】 楷書の古典を正確に臨書し、その背景を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 楷書の古典を比較し、その特性を理解して表現、臨書している。 【学びに向かう力、人間性等】 実技のための準備をして授業に臨んでいる。メモをとるようにしている。	・基本点画の確認と復習。 ・半紙の折り方など(16分割法)。 ・『孔子廟堂碑』と向勢。 ・虞世南と「天下の孤本」(拓本)。	○	○		○					4
単元…楷書・『雁塔聖教序』 【知識及び技能】 楷書の古典を正確に臨書し、その背景を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 楷書の古典を比較し、その特性を理解して表現、臨書している。 【学びに向かう力、人間性等】 実技のための準備をして授業に臨んでいる。メモをとるようにしている。	・基本点画の確認と復習。 ・半紙の折り方など(2, 4, 6字書き用)。 ・『雁塔聖教序』と俯仰法。 ・褚遂良と玄奘三蔵法師。	○	○		○					4
単元…楷書・『自書告身』 【知識及び技能】 楷書の古典を正確に臨書し、その背景を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 楷書の古典を比較し、その特性を理解して表現、臨書している。 【学びに向かう力、人間性等】 実技のための準備をして授業に臨んでいる。メモをとるようにしている。	・基本点画の確認と復習。 ・半紙の折り方など(2, 4, 6字書き用)。 ・『自書告身』の顔法と明朝体。 ・顔真卿と安史の乱。 ・明の大船団派遣と世界四大發明。 ・マルコポーロのみた「万安橋記」	○	○		○					4
単元…楷書・『牛欄造像記』 【知識及び技能】 楷書の古典を正確に臨書し、その背景を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 楷書の古典を比較し、その特性を理解して表現、臨書している。 【学びに向かう力、人間性等】 実技のための準備をして授業に臨んでいる。メモをとるようにしている。	・基本点画の確認と復習。 ・半紙の折り方など(2, 4, 6字書き用)。 ・『牛欄造像記』と方勢。 ・方勢と円勢。 ・側筆と直筆。 ・『鄭義下碑』と円勢。	○	○		○					4

	<p>単元…楷書・『開寺心経』</p> <p>【知識及び技能】 楷書の古典を正確に臨書し、その背景を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 楷書の古典を比較し、その特性を理解して表現、臨書している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 実技のための準備をして授業に臨んでいる。メモをとるようにしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 基本点画の確認と復習。 半紙の折り方など（行立て用）。 細字の執筆法。 細字を書く際の墨の工夫。 常用漢字、旧字体、書写体、異字体字など。 					<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小筆の執筆法を理解し、正確に基本点画（起筆・収筆など）を書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 均等に文字を行に配置したり、文字の大きさを揃えるための工夫や準備をし、正確な表現ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 小筆の正しい使い方、洗いや、保存法を実践している。 細字を書く上での適切な紙の準備をしている。 				4
2 学 期	<p>単元…漢字の書、行書への導入</p> <p>【知識及び技能】 行書の成り立ちを理解し、古典を正確に臨書することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 行書の特徴を理解して、判読し正確に表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 行書を書くための用具用材を準備し、適切な速度と正確性を保って書こうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 行書の基本点画練習。 半紙2文字書きによる古典臨書。 半紙6文字書きでの全臨。 範書を参考に、行書の氏名練習。 					<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 行書の特徴を理解している。 点画を連続させて書いたり、曲線的に書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 筆順が変わることを理解している。 点画が変化したり、省略されたりすることを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 文字の意味を理解して書こうとしている。 墨継ぎの回数や抑揚を守って書こうとしている。 				4
	<p>単元…行書・蘭亭序</p> <p>【知識及び技能】 行書の成り立ちを理解し、古典を正確に臨書することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 行書の特徴を理解して、判読し正確に表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 行書を書くための用具用材を準備し、適切な速度と正確性を保って書くことで全臨する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 行書の基本点画練習。 『蘭亭序』の全臨。 半紙2文字書きでの全臨。 補助教材の使用（拡大手本蘭亭序） 					<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 行書で半紙に6文字書きができる。 点画を連続させて書いたり、曲線的に書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 筆順が変わることを理解している。 点画が変化したり、省略されたりすることを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 文字の意味を理解して書こうとしている。 墨継ぎの回数や抑揚を守って書こうとしている。 				4
	<p>単元…行書・争坐位文稿</p> <p>【知識及び技能】 行書の成り立ちを理解し、古典を正確に臨書することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 行書の特徴を理解して、判読し正確に表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 行書を書くための用具用材を準備し、適切な速度と正確性を保って書こうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 行書の基本点画練習。 半紙2文字書きでの形臨。 『蘭亭序』と『争坐位文稿』の比較。 顔真卿の生涯と明朝体。 					<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 筆圧の変化で線に抑揚を付けることができる。 空間をゆったりと空けて曲線を描くように運筆できる。 【思考力、判断力、表現力等】 向勢を理解して表現できる。 藏筆を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 『蘭亭序』と比較して表現しようとしている。 旧字体を理解して読もうとしている。 				4
	<p>単元…行書・風信帖</p> <p>【知識及び技能】 行書の成り立ちを理解し、古典を正確に臨書することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 行書の特徴を理解して、判読し正確に表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 行書を書くための用具用材を準備し、適切な速度と正確性を保って書こうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 行書の基本点画練習。 半紙6文字書きでの形臨。 三筆と三蹟について。 					<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 線の太細の変化を表現できる。 文字と文字を連続させて書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 字形と筆順により、点画が省略されることを理解している。 文字の重心が低く安定して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 文字の意味を理解して書こうとしている。 墨継ぎの回数や抑揚を守って書こうとしている。 				4
	<p>単元…仮名の書・古典かなへの導入</p> <p>【知識及び技能】 仮名の用具用材を理解し、基本的な仮名の線を書くことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 墨の濃度、紙の種類などを工夫し、様々な仮名の表現ができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 古典かなを通して現代平仮名や短歌に等にも興味をもち、表現を工夫しようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 仮名の基本線練習。 料紙の紹介、作成。 磨墨体験。 用具清掃。 					<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 仮名用の用具の使い方を理解している。 料紙の紹介、作成。 仮名の基本点画を正しく書くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 紙に対して適切なサイズで書くことができる。 適切な墨の濃度に加減して書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 仮名用の小筆を正しく扱い、片付けている。 仮名で表現された短歌などにも興味を持つことができる。 				4
	<p>単元…仮名の書・平仮名</p> <p>【知識及び技能】 仮名の用具用材を理解し、基本的な仮名の線を書くことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 平仮名の結体を考え、判別し適切な表現ができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 古典かなを通して現代平仮名や短歌に等にも興味をもち、表現を工夫しようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 紙の折り方(48マス) 小筆による細字練習。 					<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 仮名の基本点画を正しく書くことができる。 平仮名の外形特徴を理解して書いている。 【思考力、判断力、表現力等】 紙に対して適切なサイズで書くことができる。 元となった漢字からより適切な結びを使い分けている。 【学びに向かう力、人間性等】 仮名用の小筆を正しく扱い、片付けている。 仮名で表現された短歌などにも興味を持つことができる。 				4